

東部療育通信-2022年12月号-

入所と地域の障害児(者)の生活を支援するメールマガジン

発行東京都立東部療育センター<http://www.tobu-ryoiku.jp/>

日頃より東部療育センターのメールマガジンをお読みいただき誠にありがとうございます。
ございます。

今回のメールマガジンは、「Zoom でのコミュニケーション」についてご紹介します。

コロナ禍での行動制限の日々も 3 年弱になろうとしています。センターに入所されている利用者様もほとんど病棟外に出られない生活が続いています。以前はリハビリの時間はリハビリ室のあるエリアに来ていただき、他の病棟の方々とすれ違いざまに交流をしたり、一緒にグループ活動を行ったりしていました。また他の病棟に遊びに行き、異動したスタッフとの再会を楽しんだり、そこでダンスや合奏を発表したりする機会もありました。

多くの方とコミュニケーションを取る機会が激減したことは非常に残念です。そのような中、当センターでも新しいコミュニケーション手段『Zoom』を使用して、“ご家族”と、“他の病棟の方”と、“センター外の方”と交流をしていこうという取り組みが始まり、利用件数も増えつつあります。リハビリ科では『センター内外の交流会』を企画して、病棟間、病棟と通所、センターと他施設を Zoom で繋ぎ、自己紹介や近況報告をかねたゲーム等をして利用者様同士の交流の場のお手伝いをしています。

人はひとつの感覚器官（例えば目で見ると）のみ使用するよりも、いくつかの感覚器官を使うことで情報をより明確に、詳細に受け取ることが出来ます。実際に会えば、五感を使ってその人を感じることが出来、これに勝るものはありません。これまでの面会制限期間は電話で声を聴くだけ、写真を見ながら手紙を読むだけであったのが、Zoom を使ってお互いに姿を見ながらお話が出来るということはとても大きな進歩であると感じています。

発信が少ない当センターの利用者様とのコミュニケーションは、同じ場所において寄り添い一緒に感じたことを共有することで行うことが出来ていました。しかし、Zoom でのコミュニケーションは思った以上に難しいと感じる方も多いと思います。

そこで今回利用者様との Zoom 面会を充実させるご提案をいくつかご紹介したいと思います。Zoom 面会の様子を見せていただいたときに多くの利用者様が喜ばれるのは、ご家族の声です。しかし、15 分間一方的に話し続けるのは大変というお話しもよく耳にします。

そのようなご意見を踏まえつつ、いくつか考えてみました。

1つ目は「(出来れば利用者様のお好きな) 歌を歌う、朗読をする」。

よくご家族が歌ってあげていた歌、幼少のころから繰り返し読んであげていた本、声だけでなくフレーズ等もその方らしさがとても出て、ご家族を身近に感じる事が出来ると思います。

2つ目は「話すテーマを決めておく、出来ればシリーズで」。

“散歩中に見つけたもの”、“最近お気に入りの〇〇”、“(利用者様の)甥(姪)っ子が書いた絵・作った工作”等、内容は何でもいいと思います。テーマは決まっているので考えるプレッシャーは無く、利用者様を思って次のネタ集めをするのも楽しい時間ではないでしょうか。

最後に、「Zoomでも場は共有できる」。

一緒にご家族の思い出の曲を聴く、お勧めの漫才を見る、ご兄弟のお子さんの発表会のDVDを見る等もいいと思います。近くにはいませんが、同じものを同じ時間に見たり聞いたりすることで、空間を共有することが出来ます。

様々な状況下にあっても、人と人との関わりを絶やさないために、何が出来るのかこれからも考えていきたいと思っています。ご相談、ご提案がありましたら、是非お気軽にお声かけください。

診療部リハビリテーション科 言語聴覚士 岡本敦子

今回のメールマガジンはいかがでしたでしょうか？

ご意見・ご要望等ございましたら、遠慮なくお寄せください。

INDEX

1：施設概要のページへ

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/outline/>

2：ご利用案内のページへ

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/guide/>

3：施設開放サービス

→http://www.tobu-ryoiku.jp/service/opening_service.html

4：リハビリテーション科

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/guide/department/rehabili.php>

施設概要

●東京都立東部療育センターは、重症心身障害児(者)の医療と療育を総合的に行う施設です。

●少子化が進行する中であっても、心身障害児(者)は減少しておらず、また、障

害の程度は重度・重症化しています。更には、家族が高齢となったため家族介護が困難で施設入所を希望している方も増えています。

●一方で、できる限り住みなれた地域で在宅の療育を望んでいる障害者や家族の方達は多く、その支援の充実を図ることが一層必要となっています。このような状況に対応するため、重症心身障害児(者)施設が整備されていなかった区東部地区に設置することにしました。

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/outline/>

◆このメールはmsw_trc@mtrc.jp のアドレスより配信しております。

◆送信アドレスは配信専用です。お問合せやお手続きは下記よりお願いします。

東部療育通信

発行：東京都立東部療育センター<http://www.tobu-ryoiku.jp/>

個人情報保護方針：<http://www.tobu-ryoiku.jp/privacypolicy.html>

問合せ先：<https://www.tobu-ryoiku.jp/inquiry.html>

〒136-0075 東京都江東区新砂3-3-25

TEL 03-5632-8070 / FAX 03-5632-8071

E-mail msw_trc@mtrc.jp

●配信がご不要の方は、下記URL にアクセスして下さい

<https://www5.webcas.net/gs/p/delete-user>

Copyright (C) TOBU RYOIKU CENTER. All Rights Reserved.